



首長が選ぶモデル自治体の新聞記事
(平成16年3月31日付の岩手日報紙より転載)



佐藤忠暉議員

首長アンケート

モデル自治体はどこか

「ノーコメント」と回答

質問 共同通信社が加盟

新聞社と協力して、今年の一〜二月に実施した全国自治体首長アンケートで「今後のまちづくりのモデルにしたい自治体」を選んだ結果、北海道ニセコ町が平成十四年の前回調査に続いて一位になったという。そこで次の点を問う。

その評価の内容はどうか。②選ばれた十二自治体のカギは「住民参加」と受けとめたが、本町のまちづくりを、今後どのように考え実施していくのか。③選ばれた自治体は、人口規模、財政力などさまざまだが、首長が豊かな発想と強力なリーダーシップを持ち、対外的に積極的に発信している点が共

通している。なぜ、山田町が選ばれなかったのか。その原因はどうか。

沼崎町長

①この質問には「ノーコメント」と回答した。②まさにそのとおりであり、施政方針でも述べている。③山田町は全国的に知名度はないし、選ばれなかったことを反省するつもりは毛頭ない。

議員8人が一般質問



町内の特別養護老人ホーム

老人福祉

特養ホームの増設を

充分間に合っている

質問

町内の特別養護老人ホームや介護保健施設へ入所を希望しても、待機期間が長く、なかなかすぐに入れない状態のようだ。

また、ショートステイを希望しても現実には厳しく、すぐに利用できないと聞

く。そこで次の点を問う。

①これらの施設をあと数カ所設けるように働きかけはどうか。

②身寄りのない高齢者を対象にした「(仮称)高齢者生活福祉センター」の建設計画は順調に進んで

沼崎町長

いるか。①国の基準では施設は充分間に合っているということになっている。

②現状では厳しい。

質問

町長は、特養ホームは、間に合っていると答えたが、私が調べた五施設の入所待ちは、平均百三十人で、いつ入所できるかわからないとのことだ。

これでも間に合っていると考えるか。

横田保健福祉課長 国の参酌標準値どおり行っている。

ことば …施設参酌標準値とは

厚生労働省が示した65歳以上人口のうち、施設入所者にあてる割合の標準のこと。